



ダイバート、 メア発言に対する抗議決議

3月10日(木)「米軍基地普天間飛行場へのダイバートに対する抗議決議」「ケビン・メア米国務省日本部長(前在沖米国総領事)の発言に対する抗議決議」について在沖米国総領事館へ要請行動を行い、両決議について抗議しました

ぎのわん 第79号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野高一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411(内340)
印刷 株式会社ちとせ印刷



在沖米国総領事館へ、決議文を手に抗議に向かう呉屋勉議長を初めとする宜野湾市議団

定例会の経過

2月	23日	議会運営委員会
	25日	会期の決定、施政方針、案件上程、説明 基地関係特別委員会
	28日	基地関係特別委員会
3月	3日	基地関係特別委員会
	4、7、8日	常任委員会議案審査
	7日	議会運営委員会
	8日	議会運営委員会
	10日	中間表決(委員長報告)
	14日	会派代表者会議
	14～17日	一般会計予算審議
	18、22～25日 28日	一般質問 (質問者23名)
	28日	会派代表者会議
29日	各常任委員会の審査報告及び表決	

平成23年度一般会計予算案を可決
政策調整監の指定に関する条例を賛成少数で否決!

3月
定例会 会期
2月25日～3月29日

第360回宜野湾市議会定例会は、2月25日から3月29日までの33日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成23年度一般会計予算や各特別会計予算のほか、宜野湾市特別職の秘書の職の指定に関する条例の制定について、副市長の選任案件を含む35件の議案等が審議され、23名の議員による一般質問も行われました。

3月定例会 主な議案の 審議経過

平成二十三年
度
一般会計予算

可決

新年度一般会計予算は予算総額三百二十一億二千七百万円対前年度比一〇・八％の増、政策事業本数は、新規事業十八本を含む百二十一本となっております。

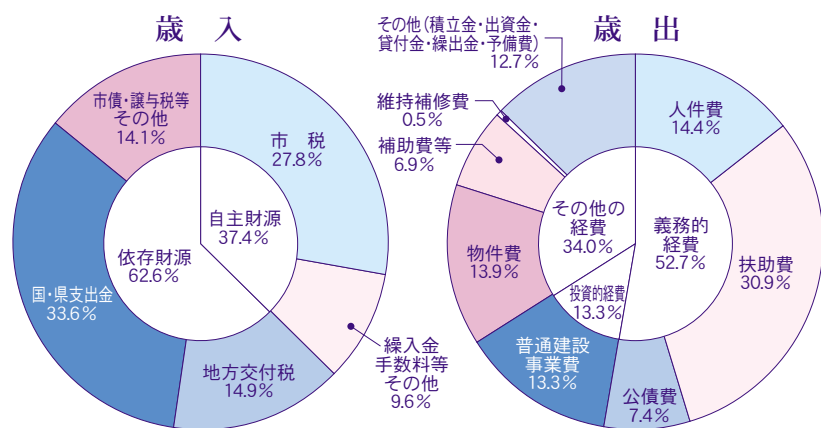
特に民生費で子ども手当や生活保護費等の増が見込まれることから約二十五億円の増額、また教育費では、普天間第二小学校の教室や、宜野湾中学校の校舎、武道場、水泳プールの増築、大山小学校分離新設校の設計委託料などで六億八千九百万円の増額となっております。

四日間わたる審査では、第二次包括的ITアウトソーシング事業委託料や市税、児童の医療費助成事業、国有提施設等助成交付金等に関して多くの議論がなされ、全会一致をもって可決されました。

平成23年度 各会計別予算 (単位:千円)

会計名	予算額
一般会計	32,127,000
特別会計	
国民健康保険	12,026,685
介護保険	4,194,205
介護老人福祉施設等	323,145
後期高齢者医療	641,843
下水道事業	1,628,369
宇地泊第二土地区画整理事業	644,818
佐真下第二土地区画整理事業	570,864
水道事業会計	
収益的、資本的収入	2,094,712
収益的、資本的支出	2,242,599

平成23年度 一般会計歳入歳出予算性質別の状況



秘書の職の 指定等に関する条例

可決

議案第三十二号「宜野湾市特別職の秘書の職の指定等に関する条例の制定について」は、市長が選挙公約、マニフェストで掲げた仮設避難港の開発、市道宜野湾十一号道路整備事業等の四つの主な事業への取り組み強化を図るため、政策調整監の職を設置したいという提案です。

審査においては、職員定数の削減等が国から求められているなか、時代に合っているのか、副市長選任案件と政策調整監の同時提案は理解できないなどの質疑、提言がなされ、採決の結果は賛成少数(賛成十名、反対十七名)となり否決されました。

副市長の選任

不同意

現市長の副市長選任に伴い「副市長の選任について」が追加案件として本会議に提案されました。

議案の内容は、会計管理者の國吉秀子氏を選任するもので、桃原功議員による賛成討論が行われ、採決の結果は、賛成少数(賛成十二名、反対十五名)で、不同意となりました。

大謝名地区学習等 供用施設の設置

可決

大謝名地区学習等供用施設の設置に伴い、現在市内に九カ所ある学習等供用施設に新たに追加するため、「宜野湾市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について」を改正するものです。

審査では、建設に係る総事業費の財源内訳について、総事業費約九千五百四十九万円のうち、地域寄附金が約二千五百六十六万円であるが、完成後、工事費等に剰余金が生じた場合の寄附金の減額や今後の施設整備計画などについても質疑がなされ、全会一致で可決されました。

沖縄防衛局へダイバート中止を要請



真部局長へ意見書を手渡す呉屋勉議長

議長を初めとする市議団(基地特委員会、議運正副委員長は、クレア・カネシロ)在沖米国主席領事に抗議文を手渡し、メア氏の侮辱的発言に対する事実確認や謝罪について申し入れを行い、その後、沖縄防衛局では、ダイバートに対する意見書を真部局長に手渡し、前回の抗議後と同じことが繰り返されていることや、安全、管理体制の徹底について要請を行いました。

第二六一回臨時会

平成二十三年五月二十五日に招集された臨時議会は、予算不足による繰上充用となる国民健康保険特別会計補正予算(第一号)を含む三件の議案が審議され、それぞれ全会一致で可決、承認されました。

議事事務局の人事異動

平成二十三年四月一日に議事事務局の人事異動が行われました。

議事係 中村 誠(国民健康保険課より)

なお、玉代勢桂さんが児童家庭課へ、上地章弘さんが農水振興課へ異動となりました。

一般質問

今定例会は、23名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市 長安里 猛
- 教育 長宮城茂雄
- 本道事業管理者 新田宗仁
- 総務部長 仲村 隆
- 企画部長 城間盛久
- 基地政策部長 山内繁雄
- 福祉保健部長 玉那覇豊子
- 市民経済部長 新城正一
- 建設部長 稲嶺盛政
- 教育部長 宮平良和
- 指導部長 下地邦敏
- 消防 長平安名常明
- 会計管理者 國吉秀子

うるささ指数の見直しについて



桃原 功 議員

◎議員 平成二十五年四月から変更される「うるささ指数」の内容について伺いたい。

◎基地政策部長 航空機騒音に係る環境基準の一部改正により、これまでのW値から「Lden(エルデン)」という指標に変更されます。また、数値はW値から十三差し引いた値となり、時間帯により過重を課す場合の算定方法も変更されます。

◎議員 新基準Ldenは、騒音測定による逆転現象が改善されることとあり、本市騒音コンター(うるささ指数地図)の見直しは今後検討されているか。

◎基地政策部長 沖縄防衛局に確認したところ、コンターの引き直しではなく、平成二十五年から実際の測定値を評価し、検討するとの回答を得ております。本市としては、防音工事の区域指定を市内全域へ拡大するように要請を重ねてまいりたい。

◎議員 市内全域でうるさいという実態を、継続して国に強く訴えてもらいたい。

地デジ放送の受信障害と対策について



平良眞一 議員

◎議員 沖縄防衛局の調査による障害範囲は、野高、普天間、新城の一部の三地区で、約九百戸が障害対策を講じる必要があるとのことですが、市としては、この三地区以外に問題がないという判断をされているのか、伺いたい。

◎基地政策部長 市に対しての苦情は、この三地区以外でも多く寄せられています。今年二月にも市長は防衛局に

対し、ほかの地域でも障害が発生しているの、受信障害の解消に向けて対応してもらいたいと要請しております。

◎議員 今回、飛行場周辺放送受信障害対策事業として交付される約九千八百万円で、どのような対策をされるのか。

◎基地政策部長 まず受信障害のアンケートを行った上で、既存アンテナの撤去、ブースターや高性能アンテナの設置を予定しているところです。

◎議員 ぜひとも調査をされて、市内全域を対象とした障害対策ができるように継続して取り組んでいただきたい。

新設学校給食センター建設事業について



伊波秀男 議員

◎議員 当該事業は、普天間第二及び真志喜学校給食センターの老朽化に伴う建設事業とのことですが、計画の概要について伺いたい。

◎教育部長 新設学校給食センター建設に当たっては、平成二十六年年度供用開始を目指して計画を進めております。平成二十三年度は、基本構想、基本計画を策定し、並行して建設検討委員会を立ち上げ、

建てかえや統合等の建設手法について調査研究しているところであり、できるだけ早い時期に提案できるようにしてまいりたい。

◎議員 新設される学校給食センターで使用する食器は、今使っている四品皿ではなく、食育としてのマナー教育の観点からも単品皿にしてもらいたい、いかがか。

◎教育部長 各委員からも今回の建設に当たって、単品皿への見直しもするべきだとの強い要望もありますので、この機会にぜひとも導入に向け、取り組んでまいりたい。

真栄原2丁目の新設道路整備について



知名康司 議員

◎議員 真栄原地内新設道路整備事業とはどのような事業内容なのか。

◎建設部長 真栄原二丁目地域、通称「新町」地域における、最適な路線、線形を選定することを目的とした概略設計業務委託事業であります。それに基づき上級官庁へ補助金で対応できるか協議してまいります。

◎議員 真栄原地域のまちづくりを今後どうするか、地域の住民が非常に気にしているところなので、県とも相談の上、地権者、周辺住民等の理解も得ながら、この事業をぜひとも進めていただきたいと思っております。また、今後のまちづくりについて市長の考えをお聞かせください。

◎市長 通称「新町」地域については、子供たちの通学路にもなっており、環境浄化に向けて早期に取り組まなければならぬと思っております。今回の概略設計を踏まえ、早めに事業着手ができるよう取り組んでまいります。



早期の環境整備が期待される(通称)新町

都市計画街路 普天間・野嵩線 について



土地安之 議員

◎議員 当該路線は、昭和四十三年に都市計画決定され、その後、平成十四年に地権者説明会が開催されたにもかかわらず、事業着手できない理由は何ですか。

◎建設部長 事業採択に向けて県とも調整してきましたが、都市計画街路の採択要件の取り扱いが見直されたことにより、当該道路の補助採択が困難との回答があり、事業着手

のめどが立たず、現在の状況に至っているところですが。

◎議員 当該路線が今日まで未着手となった経緯や、今後の方針を、改めて地権者に対して説明すべきではないですか。

◎建設部長 未整備箇所については、県を含めて、今後の整備プログラムを策定する中で説明会の開催等については検討してまいります。

◎議員 遅々として進まない都市計画街路は総合的に精査して、さまざまな角度から検証し、見直すところは見直し、事業がしっかりと進められるようにしていただきたい。

公園の整備 計画について



桃原 朗 議員

◎議員 普天間周辺の既成市街地、住宅密集地については、公園が少なく、五百メートル歩けば公園はありませんが、お年寄りや妊婦さんが歩いて公園に行くのは大変厳しいことだと思えます。既成市街地へ公園を整備するのは土地をあらかじめ確保しないといけないなど、大変難しいことだと認識していますが、公園整備も含めた普天間地域の面的な

整備についての見解をお聞かせ下さい。

◎市長 現在、基地政策部において既成市街地の課題を洗い出し、整理を行い、事業化に向けて取り組んでおります。また、普天間飛行場周辺の再生、活性化を目的に神宮周辺における公園等を含めた整備を進めていくことになっております。

◎議員 戦後復興で普天間地域が賑わいをみせていた町並みを取り戻すためにも、公園の整備計画を推進していただきたいと思えます。

倉浜衛生施設 組合のし尿処理 施設について



宮城 司 議員

◎議員 倉浜衛生組合のし尿処理場「清水苑」は稼働率が二〇%とかなり低くなっております。中に入ることも危険なほど施設が老朽化しています。が、今後の整備方針についてどのように考えていますか。

◎市民経済部長 今後の方針として、公共下水道の接続が順調に進んでおり、搬入量が減少傾向にあることから、隣接する県浄化センターへの下

水道の放流についても検討しております。また、施設は築三十五年になり老朽化によるひび割れ、亀裂が発生している状況であるため、平成二十二年から二十三年にかけて補修工事を計画しております。

◎議員 施設の維持管理費に九千万円の費用がかかり、稼働率も二〇%もいかないという状況のなかで、下水処理については県の浄化センターへ任せるとして、予算の削減、跡地の有効利用ができないか検討していただきたいと思えます。



し尿処理施設「清水苑」で担当より説明を受ける本市議員

国民健康保険 制度の広域化 問題について



知念吉男 議員

◎議員 長引く不況で国民健康保険財政は大変厳しい状況のもと、県からは広域化を進める方針が決定しているのですか。

◎福祉保健部長 県は保険財政の安定化の観点で財政調整等がまだ不十分であることから、平成二十五年度中をめどに広域化等支援方針を策定中でありま。

が一般会計からの繰り入れがなければ立ち行かないなか、広域化により国民健康保険の財政がうまくいくのか。

◎市長 国保財政の広域化について、市町村としては賛成が大多数であるが、全国知事会としては赤字構造の問題を解決しなければ、巨大な赤字自治体をつくるだけとの懸念もあります。

◎議員 国の負担分を増額するという約束が無い限り、広域化は進めてはいけないものだと考える。ぜひ、全国市長会等で市長の思いを伝えていただきたい。

電子自治体 への取り組み について



岸本一徳 議員

◎議員 ICTを活用し、利用できる電子サービスについて、本市は、どの時期に実現しようと考えているのか、伺いたい。

◎総務部長 県外において住基カードを利用し、コンビニで住民票、印鑑証明等の交付を受けるサービスを実施していることは承知しております。本市の状況としましては、国の計画や予定も示されてい

ないことや、コンビニ事業者に対する手数料負担などの理由により実施しておりません。

◎議員 市民との協働を実現する、インターネットと電子メールを利用した登録制市民モニター制度があるが、本市においても、この制度を導入する考えはあるか。

◎企画部長 施政方針にも述べておりますが、平成二十三年度から市民参画と協働によるまちづくりを推進するため、企画部に市民協働推進担当主査を配置することになっております。その中で積極的に検討していきたいと思えます。



伊佐郵便局前に貼られている「こども110番の家」のステッカー

市内小学校通学路の安全対策について



伊波一男 議員

◎議員 学校現場に対し、通学路の安全指導として具体的な指導をどのように行っているのか、お聞きしたい。

◎指導部長 それぞれの学校教育計画の中で安全指導の年間指導計画を作成し、年間を通して計画的に子供たちの安全指導を行っております。なお、四月から五月にかけて、宜野湾警察署と連携して、新一年生を対象とした安全教室

を実施しております。

◎議員 子供たちを犯罪から守るための太陽の家、こども一〇番が設置されているが、留守等の理由により機能していないのではないかと。また、設置場所の案内について行っているのか伺いたい。

◎指導部長 太陽の家に関しては、現在市内におよそ三百五十カ所指定しておりますが、機能していないというところであれば、確認は十分に行っているかと思っております。現在路面に貼り付けるタイプのステッカーを作成し、広報活動にも力を入れております。

市道宜野湾11号の早期整備について



宮城 克 議員

◎議員 市道宜野湾十一号のその後の進捗状況について伺いたい。

◎建設部長 返還部分の地権者の一〇〇%の同意、基地内巡回道路の移設及び普天間飛行場内への雨水流入による冠水被害等の理由により、ほとんど進展していないというのが現状であります。

◎議員 防衛局は、必ずしも一〇〇%の同意にこだわって

いないとのことなので、市長が先頭に立って、再度防衛局や米軍サイドに訴えていくことが解決の近道だと思いが、市長の見解を伺いたい。

◎市長 現在まで防衛省といろいろ意見交換をしてきましたが、これまでの一〇〇%同意の返還方式ではなく、可能な分の宜野湾区側からの返還方式、中原区側からの共同使用方式といった具体的な案の提示をしながら、これからの交渉に臨んでまいりたい。

◎議員 市長を先頭に、職員一丸となって、より一層の努力をお願いしたい。

本市の法事に関する取り決めについて



佐喜真進 議員

◎議員 平成十六年四月一日より市内全域にて、法事に関する取り決めについて実施しているが、経緯について説明を伺いたい。

◎市民経済部長 昭和六十年頃から市婦連を中心に取り組みが拡大していったものと思われま。また、平成元年には、市婦連、市老連及び自治会が一体となり、各自自治会における立て看板等の作成を行

い、簡素化についての啓発を行っております。また、市も積極的に支援をしていきたいと思っております。

◎議員 取り決めが市内一部の地域では守られているが、次第に薄れてきているので、市長が先頭に立って、法事に出席の際には、お返しを受け取らないよう実践していただきたい。また、市報にも定期的に掲載していただきたい。



基本計画が策定されたものの、手つかずの状態にある仮設避難港

仮設避難港周辺の整備計画について



仲村春松 議員

◎議員 仮設避難港の整備は、県と一体となって埋め立てを実施し、民間に土地処分をする民間進出の方法しかないと考えますがいかがですか。

◎企画部長 埋め立ては経費がかさむため断念した経緯があることや、以前、専門家からも沖縄の財産である海辺を生かすことを強く勧められたことなどから、仮設港のウォーターフロント的な海辺を生

かした開発に取り組んでいるため、今の段階では埋め立てというところは考えていません。

◎議員 埋め立ては市の財政的にはどうなのか、概算を出すことは無駄ではないと思うが、今後検討することができないか。

◎企画部長 比較検討については次のステップで明らかにしていきたい。

◎議員 絵に描いたもちみた

行財政改革の進捗状況について



大城政利 議員

○議員 本市の行革の推進について御説明をいただきたい。

○総務部長 今年度は四次の総括を行い、五次行財政改革大綱に向けて外部の有識者、専門家、市民団体等の委員からなる市行財政改革委員会を設置。平成二十一年において五十三項目中四十四項目、八三%が実施済みで、行政効果として七億四千七百万円あまり、定員適正化計画において

は、四年間で一億五千四百万円の効果を上げています。
○議員 他市においては、平成十九年に勤務時間が午後五時十五分までと改正されているが、なぜ本市だけが遅れているのか。

○総務部長 勤務時間等は就業に関するため、組合との調整協議で遅くなりましたが、双方で精力的に取り組んでまいりました。

○議員 他市ですぐできることが二、三年もかかるのは市民サービスの停滞ではないか、本来の業務がおざなりにならないよう取り組んでほしい。

沖縄振興特別措置法の改善、要望について



又吉清義 議員

○議員 平成二十四年度から振興特別措置法が変わるが、要望や協議はしているのか。

○企画部長 県からの意向調査に、国の財政支援、跡地利用の推進体制の確立、地主の負担軽減として給付金制度のさらなる充実の三点を要望しております。

○議員 社会情勢を考えた場合、随分不十分ではないか。
○基地政策部長 県では、返

還跡地整備の課題に対し、十一の跡地関係市町村長が構成員となる基地関係市町村連絡調整会議を開催し、六つの新法制度の基本的な考えを取りまとめ、知事を先頭に昨年九月には国に要望しています。
○議員 基本計画策定に向けた予定は、三月がめどだが、のんびり構えているのではないかと、いまからでも切り込んで頑張ってもらえないか。
○基地政策部長 沖縄県民の将来、特に本市は中心に普天間飛行場がありますので、開発のため精一杯努力していきたいと思います。

幼稚園教育の現状について



屋長千枝美 議員

○議員 現在、幼稚園五歳児は三十五名の定数ですが、教育現場からの強い要望で五歳児クラスを二十五名、四歳児クラスを二十名以下の定員に引き下げてほしいと思います。

○指導部長 行き届いた保育ではあるが、教員の定数増や増築により、膨大な予算が必要なため、教育効果、他市の状況を検討し進めていきたい。
○議員 幼稚園教育は、教育

の基礎であり、人育成に思い切った予算を投入すべきだと思います。次に幼稚園臨時職員の待遇に見合わず、改善が早急に求められると思いますが、いかがですか。
○総務部長 日額六千八百円で、夏季手当、年末手当、賞与の支給はありませんが、人材確保の視点からも予算編成のなかで考慮しながら、個々の待遇改善等も努めているので御理解をお願いしたい。
○議員 せめて夏季手当、年末手当があると大変助かると思いますので、検討をお願いします。

学習地区の長等供用施設について



米須清正 議員

○議員 長田地区学習等供用施設の防衛補助における基準面積と世帯数で、補助金額が決まるのか答弁願いたい。

○総務部長 補助基準面積としては、八十、百二十、三百十、五百平米の四基準があり、世帯数等で判断するものではなく、建設面積による定額補助であります。

○議員 本市は、普天間飛行場を抱えていることから、地

元の負担軽減という観点からも制度研究をして補助金の確保をするともに、公民館と児童センター等の併設も検討してほしい。
○総務部長 国や市の関係部署とも協議の上、地元負担軽減を検討したい。
○市長 地域コミュニティの活性化という観点からも、公民館と福祉施設としての児童センター等の併設なども検討していきたい。
○議員 地元も頑張るので、浦添の西原公民館のような複合型公民館の建設に向けて検討してほしい。

住農整理地区の農住組合方式について



伊佐光雄 議員

○議員 事業進捗状況及び対象地域について説明願いたい。

○市民経済部長 大山田いも栽培地区基本計画に基づき、関係地権者等に対する説明会を開催し、五月十九日までに認可申請出来るように努力しているところであり、また、対象地域は、南側十八ヘクタールです。
○議員 農住組合方式と聞いているが、事業説明と地権者数を答弁願いたい。



農住組合方式の区画整理が検討されている、大山田いも地域

○市民経済部長 緑地の持つ多面性を生かし、農と住が調和した都市づくりをすることです。
○建設部長 地権者数は、二百十四名です。
○議員 市長は、四つの課題のうちの一つに当該地区の開発を掲げているが、決意を述べてほしい。
○市長 長年の懸案事項であり、国の理解も得ながら早期の事業化を図りたい。
○議員 この地域は、道路や学校建設も予定されていることから、早期実現に向けて努力していただきたい。



増築工事を予定する普天間第二幼稚園(中央)と普天間第二小(右奥)

普天間第二小・幼稚園の増築について



呉屋 等 議員

○議員 増築工事の概要、工期の日程及び併行防音工事の等級について御説明ください。

○教育部長 小学校は、既に三教室の不足が見込まれることから、遊び場のスペースを活用して三階建てを増築し、八月ごろ着工で二月末までに完成予定です。幼稚園は、今後二年保育の実施と預かり保育の実施による平屋の増築で、来年一月末までに完成予

定です。また、どちらも併行して一番上の等級の一級防音工事を予定しております。

○議員 工事車両の出入り口が、正面入り口しかないのが、安全確保のため別の進入路を検討するべきと考えますが。

○教育部長 小学校は、敷地の西側にある教材園のスペースと建設部管理の里道を利用して、幼稚園は、駐車場の一部を取り壊して進入路を確保することで、安全面に十分に注意し、万全を期していきたい。

○議員 校舎の横に増築するため、安全面に関しては十分に配慮していただきたい。

寡婦控除のみなし適用について



玉元一恵 議員

○議員 寡婦控除のみなし適用について、県内外の状況を伺いたい。

○福祉保健部長 岡山市が平成九年度、千葉市が平成二十二年から実施しており、朝霞市が平成二十三年より実施を予定、那覇市が次年度より検討を開始することです。

○議員 平成二十二年度末の資料で、児童手当の受給者数

で、一割以上の百四十九名が未婚の母子となっている。寡婦控除のみなし適用についての本市の現状はどうか。

○福祉保健部長 離婚、死別等と非婚の母子家庭も同様に一人親世帯であり、本来であれば所得税法等での救済措置が必要と考えますが、本市としても関係部署と協議をしながら次年度からでも進めたいと考えています。

○議員 未婚、離婚等、一人で子育てをしていくことに変わりはなく、子育て環境改善という面からもしっかり取り組んでいただきたい。

仮設避難港周辺整備計画について



比嘉憲康 議員

○議員 仮設避難港周辺整備事業の中で、国庫補助事業を有効に活用する意味でも、佐賀県、福岡県、神奈川県等各地に存する、海釣り公園、釣り公園としての整備が出来ないか検討されたことがありませんか。本県は、せっかくすばらしい海に囲まれているのに、釣り公園等が一つも無いと、いろいろな方から声を聞きますがいかがですか。

○市長 仮設避難港の護岸の改修と現在の仮設避難港の整備計画の目的を達成するためには、国土交通省の補助メニューがあり、釣り堀公園は一番現実的であると思います。新年度に国土交通省に打診しながら、県に協力を求めていますかと思えます。

○議員 この件については、長年の懸案事項であります。周辺には、ゆいマルシェや駐車場も整備されてきていますので、子供たちも集まるし、家族そろって安心、安全に釣りが買物ができる所となるよう、検討していただきたい。

「飛び出せ市長室」の取り組みについて



森田 進 議員

○議員 施政方針にある「飛び出せ市長室」は、どのような事業内容で、いつごろ、どのような体制で取り組んでいくのか伺いたい。

○企画部長 当該事業は、市民の健康づくりに関して、市長みずから市役所を飛び出し、直接地域の方々の意見等を通じて施策をつくり出していくことの趣旨であり、平成二十三年度から市民協働推進担当

主査を新たに配置し、関係部署と連携を図りながら実施していきたいと考えております。

○議員 市民が主役の市政を目指す安里市長ですから、攻める行政を強力に押し進めて、市民との情報共有化を図っていただきたい。市長の意気込みをお聞きしたい。

○市長 任期四年間において、市民の健康をどのように守り、何をすべきかを市民とともに考えていくことが最大のねらいであります。

○議員 市民とひざを交えながら、話し合うことはよいことなので、ぜひ進めてほしい。

生活保護世帯への学習支援について



喜倉場保 議員

○議員 本市の高校進学率は、九二・九%に対し、生活保護世帯の進学率は八二・四%と低いとのことですが、生活保護世帯への学習支援は実施されているか。

○福祉保健部長 生活保護世帯へは、就学支援は実施しておりますが、現在、学習支援は行っていない状況です。

○議員 県は平成二十三年四月から、中部三町村をモデル

地域として生活保護世帯の子供に対し、学習支援を行うようである。本市も独自に支援事業を行うべきかと思うが、どう考えているか。

○教育長 本市は平成二十二年から学習支援員を小学校に配置しており、大学生のボランティアも活用しながら、今後ともきめ細かい指導を行っていききたいと思います。

○議員 周辺大学の学生ボランティアへの呼びかけも含め、未来を担う若者たちに教育の場を与え、自立した生活を送ることが出来る環境づくりにぜひとも進めていただきたい。

第360回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第4号	平成22年度宜野湾市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
議案第5号	平成22年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第6号	平成22年度宜野湾市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第7号	平成22年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第8号	平成22年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第9号	平成22年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第10号	平成22年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第11号	平成22年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第12号	平成22年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第13号	平成23年度宜野湾市一般会計予算	原案可決(全会一致)
議案第14号	平成23年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第15号	平成23年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第16号	平成23年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第17号	平成23年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第18号	平成23年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第19号	平成23年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第20号	平成23年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第21号	平成23年度宜野湾市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第22号	宜野湾市情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第23号	宜野湾市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第24号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第25号	宜野湾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第26号	宜野湾市税条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第27号	宜野湾市DVの防止及び被害者支援対策基金条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第28号	宜野湾市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第29号	宜野湾市建築基準法施行条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第30号	宜野湾市学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意(全会一致)
議案第31号	宜野湾市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	同 意(全会一致)
議案第32号	宜野湾市特別職の秘書の職の指定等に関する条例の制定について	否 決(賛成少数)
議案第33号	副市長の選任について	不 同 意(賛成少数)
決議案第2号	米軍基地普天間飛行場へのダイバートに対する抗議決議	原案可決(全会一致)
決議案第3号	ケビン・メア米国務省日本部長(前在沖米国総領事)の発言に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第6号	米軍基地普天間飛行場へのダイバートに関する意見書	原案可決(全会一致)
陳情第18号	シルバー人材センター活動への支援について	採 択(全会一致)
陳情第19号	離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第10号 普天間飛行場の早期返還について	承認(総務常任委員会) (全会一致)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第3号 太陽光発電設備設置促進に係る条例の制定方について	承認(経済建設常任委員会) (全会一致)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第16号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情 陳情第19号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について	承認(福祉教育常任委員会) (全会一致)

第361回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第34号	平成23年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第35号	宜野湾市国民健康保険条例に関する専決処分の承認について	承 認(全会一致)
議案第36号	宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分の承認について	承 認(全会一致)